

12月定例会の一般質問では、15名の議員が市長をはじめ市当局の考えを広く質問しました。

市政への質問

給食センター統合で2億5千万円節減へ

現在、市では、3給食センターで幼稚園と小・中学校の給食を調理しています。今後、児童・生徒数の減少が見込まれるため、2センターに統合する準備をしています。議員がその内容について質問しました。

2センター化の影響は？

問 給食センター統合によって、子どもの食育に影響は出ないか。給食の配送時間が長くないか。

答 影響は出ない。また各学校で食育をさらに推進する。食育については、平成19年度に志手原小学校が県の食育実践校の指定を受け、「食に対する全体計画の作成」「児童の状況に即した魅力的な授業づくり」など先進的な取り組みを進めてきた。その取り組みを参考に、各学校・園でも残菜や残乳量調べ、手作り野菜による調理実習などを行っており、2センター化とは別に、さらに食育を推進していきたい。配



▲地産地消・地域の農産物を子どもたちへ

送時間については、現在と大きく変わることはないと考えており、給食に影響はない。

問 給食センターの統合によって、味の低下、献立の制限、食材の規格の厳格化、地場野菜の使用減が心配されるがどうか。

答 統合によって味の低下や献立への影響はない。ゆりのき台と狭間が丘の2給食センターにおいては、平成15年度の調理食数と統合後に想定している調理食数がほぼ同じである。したがって、現場での調理実績もあるため、センター

統合によって、下処理や煮込みなどで調理時間に追われ、味の低下や献立の制限を受けることはないと考えている。

食材の納入については、従来から生産地の確認や食材の検査を求めている。規格を厳しくすることは安全な給食の提供に必要である。地場野菜については、県からエコファーマーの認定を受けたJA学校給食部会に加入している農家から一括納入する契約をしているので、今後も連携を深め、積極的に使用する。

問 子どもたちに安全でおいしい給食を届け続けるために、給食センターを統合せず現状維持に努力すべきではないか。

答 給食の質と効率的な施設運営を両立させる。子どもたちに安全・安心でおいしい給食を届け、三田の良さも取り入れた給食を提供するために、栄養と健康面を考えた「まごわやさしい献立」や「ふるさと献立」、子どもたちによる「リクエスト献立」など、多彩な献立を工夫している。2センターに統合しても、引き続き、安全でおいしい給食を届ける。

一方で、現在の市財政を考えると、できるだけ効率的な施設運営もなければならず、2センターに統合

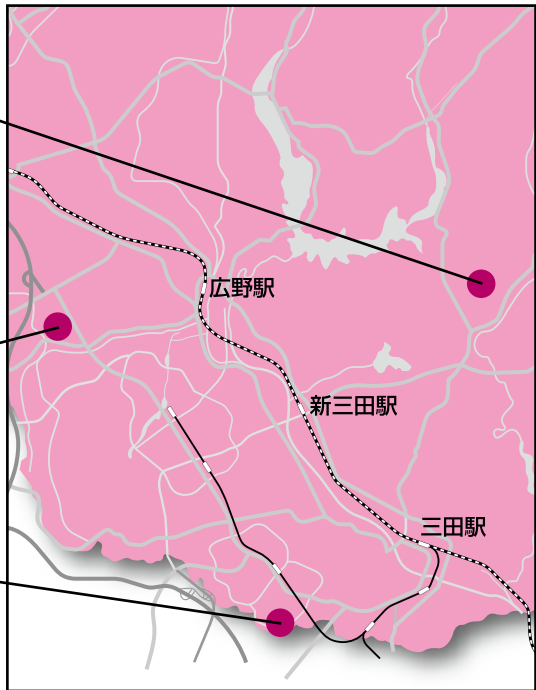
することで、向こう5年間で2億5千万円もの大きな節減が見込める。この額を三田の教育のために役立てていきたい。これらも含めて市民に十分説明し、ご理解をいただけるよう努める。今、職員は2センター化の中でどうすれば安全でおいしい給食を調理できるかを検討している。このような職員の提案も受け止めながら、2センター化によって学校給食がかわってよくなったと評価していただくよう努力する。

問 給食センターの統合の進め方が子ども・学校軽視ではないか。

答 関係者の理解を得るよう努力。統合の進め方については、施設整備とともに、給食運営協議会など関係者の合意を得ることは新年度までにすべき重要な事項である。

また、給食センターに勤務している職員や栄養教諭など教育現場の職員との協議についても同様に重要である。

いづれにしても、統合を進めるためには、保護者をはじめ学校給食にかかる関係者の理解を得ることは当然必要なことである。今後、関係者の理解を得て、事業目的が達成できるよう努力していきたい。



平成 20 年度	
ゆりのき台給食センター	4,807 食
狭間が丘給食センター	5,142 食
清水山給食センター	3,147 食
計	13,096 食調理
↓	
平成 21 年度 (見込み)	
ゆりのき台給食センター	6,833 食
狭間が丘給食センター	5,703 食
清水山給食センター	休止
計	12,536 食調理
↓	
平成 26 年度 (見込み)	
ゆりのき台給食センター	6,470 食
狭間が丘給食センター	老朽化で廃止
清水山給食センター	3,800 食
(改修・再稼働)	
計	10,270 食調理

2センター化により、21年度から25年度までで2億5千万円を削減

質問議員

- 前中 敏弘 (創世会)
- 三木 圭恵 (新政みらい)
- 平野 菅子 (公明党)
- 中野 初美 (日本共産党)
- 美藤 和広 (民主党三田)
- 福田 秀章 (盟友会)
- 北本 節代 (創世会)
- 肥後 淳三 (新政みらい)
- 松岡 信生 (公明党)
- 長谷川 美樹 (日本共産党)
- 檜田 充 (民主党三田)
- 今北 義明 (盟友会)
- 坂本 三郎 (無党派)
- 関口 正人 (創世会)
- 藤原美津雄 (公明党)

用語解説

多彩な献立

給食センターでは、魅力ある給食にするために献立を工夫しています。ふるさと三田の特産物や郷土食を取り入れ、昔ながらの伝統食を守り伝える「ふるさと献立」、かみごたえのある食品やかむ回数が多い料理を取り入れ、よくかむ習慣を養う「カムカム献立」、不足しがちな、まめ・ごま・わかめ・やさしい・さかな・しいたけ・いも類をすべて取り入れた「まごわやさしい献立」などがあります。

全国学力・学習状況調査

国が全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から各地域における児童・生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に平成19年から実施したもので、全国の小学校6年生、中学校3年生の全児童・生徒を対象としたテストのことです。